

平成23年度事業計画

1. 事業方針

本会は、公益社団法人への移行に向けて事業対象者を「不特定多数の登山者」として外向けに対象者を広げ、公共目的事業としての安全登山、山岳自然保護、競技大会等の諸事業の確立と推進方法の見直しが必要となる。

国際化、情報化、少子高齢化等の進展などによる急激な社会構造の変革が生じている中、登山やスポーツクライミングの振興の意義と国内・外における動向を踏まえ、わが国の登山界を代表する組織として、全国的な視野に立った登山・スポーツクライミング振興事業を企画・立案するとともに、登山振興の実質的な担い手である岳連（協会）及び関係機関・団体との連携強化を図り、各種事業を積極的かつ効果的に推進する。

2. 普及啓発事業（公益目的事業1）

（1）登山に関する文化・学術の振興事業

本会の機関誌である『登山月報』の内容の充実を図り、本会事業の啓発宣伝に努めるとともに、登山・スポーツクライミング等の普及振興に資する。また、ホームページを活用して、本会事業に関する情報を積極的に発信するとともに、より一層コンテンツの充実に努め、広く登山者への周知を図る。

一方、日本山岳グランプリ顕彰、海外登山隊奨励金交付制度、各種スポーツ賞等の候補者推薦などの表彰・顕彰事業を通じて登山・スポーツクライミングの振興に資する。

ア) 『登山月報』毎月15日定期発行 第505号（4月号）～第516号（3月号）

イ) HPの更新 (<http://www.jma-sangaku.org>)

ウ) 新聞・ラジオ・テレビ・雑誌等への情報提供

エ) 登山に関する情報・資料の収集

オ) 表彰・感謝状・推薦・顕彰

- ・平成23年度実施各競技大会入賞者（1位～3位）表彰
- ・平成23年度全日本登山体育大会大会功労者特別表彰（10回以上の参加者）及び開催地関係者への感謝状（団体）贈呈
- ・平成23年度永年参与感謝状贈呈
- ・第2回日本山岳グランプリの顕彰
- ・平成23年度各種スポーツ賞表彰候補者の推薦
朝日スポーツ賞、日本スポーツ賞、毎日スポーツ賞、ミズノスポーツメントール賞、日本スポーツグランプリ等
- ・平成23年度日体協公認スポーツ指導者表彰候補者の推薦
- ・平成23年度自然公園指導員自然環境局長表彰候補者の推薦

カ) 平成23年度海外登山隊奨励金交付の公募と選考

キ) 第25回海外登山女性懇談会の開催

12月*日 会場:

ク) 各種登山・クライミング大会等の後援

(2) 指導者育成事業

日体協の公認スポーツ指導者制度に基づき、山岳及びスポーツクライミング指導者の養成を実施するとともに、日山協独自の登山リーダー制度の確立を早急に図る。

ア) 指導員研修会

①指導委員研修・委員総会 6/11(土)～12(日) 東京・晴海

②指導常任委員研修会 * (土)～*(日) 神奈川県山岳スポーツセンター

③登攀技術研修会 * (土)～*(日) 国立登山研修所

④指導常任委員研修会 * (土)～*(日) 八ヶ岳

⑤指導・競技委合同研修会 * (土)～*(日) 神奈川県山岳スポーツセンター

⑥指導・遭対委合同研修会 * (*) 岸記念体育会館

⑦指導・普及委合同研修会

⑧全国指導者講師研修会

イ) 指導員養成講習会

①指導員(S・C)養成講習会 (神戸:7/18-19,7/30-31、千葉:8/18-21)

②指導員のための主任検定員養成講習会

ウ) 公認山岳スポーツ指導者の養成

①専門科目養成講習会の実施

・各岳連(協会)会長に委嘱し年間実施

・各体協に委託して実施(上級指導員、指導員)

エ) ハイキング・リーダー(仮称)の養成

オ) 国立登山研修所研修会の後援(通年)

(3) 青少年育成事業

登山の喜びを経験する機会と、より伸びるための研修の場を与え、これらの体験を通じて仲間意識と連帯を高めるとともに、参加者相互の交流を通して、地域における活動の活性化を目的に、各岳連(協会)との協力により、全国的に開催する。

ア) 高体連登山部関連

①第54回全国高等学校登山大会の開催 8/9(火)～13(土) 青森・八甲田山系

②第2回全国高校生クライミング選手権大会の開催

12/24(土)～25(日) 埼玉・加須市市民体育館

イ) ジュニア登山教室

①「少年少女登山教室」の開催(委託実施)

②「少年少女登山教室」報告会開催

2/18 (土) 国立刈苅ピク記念青少年総合センター

③「みんな集まれ！ジュニア登山教室 in 立山」

8/10 (水)～13 (土) 国立立山青少年自然の家

(4) 安全登山の啓発事業

遭難事故防止の啓発及び対策の強化と山岳共済の普及・加入推進を図り、遭難対策指導者組織の充実強化と活動の促進を図るため各種事業を実施する。

ア) 中高年安全登山指導者講習会 (国立登山研修所他共催) の実施

① 東部地区 (秋田・鳥海山系) 9/16 (金)～18 (日)

② 西部地区 (兵庫・六甲山系) 10/21 (金)～23 (日)

イ) 山岳レスキュー講習会

① 東部地区 (富山県・国立登山研修所予定) 9/23 (金)～25 (日)

② 西部地区 (群馬県・土合山の家予定) 1/27 (金)～29 (日)

ウ) 研修及び研究会

① 遭難対策研修会兼委員総会 6/25 (土)～26 (日) 奈良県・飛鳥

② 遭難常任委員夏山研修会 * (土)～* (日) 国立登山研修所

③ 国際委員総会兼第29回海外遭難対策研究会

6/18 (土)～19 (日) 山梨・芦安山岳館

④ 第50回海外登山技術研究会

* / * ～ * 国立刈苅ピク記念青少年総合センター

(5) 山岳環境保全事業

登山活動の山岳自然に対する負荷を自覚し、山岳自然を美しく保ち、後世に伝えるために山岳自然保護活動を行う。また、山岳自然保護活動の推進及び他団体と連携した環境保全活動を推進する。

また、自然保護指導員制度の普及推進を図り、且つ、自然保護指導員組織の充実強化と活動の促進を図る事業を実施する。

ア) 研修及び研究会

① 自然保護委員総会・研究会

10/15 (土)～16 (日) 鳥取県

② 常任委員現地研修会

イ) 自然保護の啓発

① 自然保護指導員制度の推進

② 全国環境月間(6月)の実施

③ 環境省・自然公園指導員制度への協力

・ 自然公園指導員の推薦

・ 自然公園ふれあい全国大会

④ 山岳自然保護関係団体と連携して自然保護委員会活動の推進

- ・山岳環境保護団体連絡会への参加
- ・山の野生鳥獣目撃レポート・プロジェクトの推進
- ・各種環境保護事業の後援と派遣

⑤日本オリンピック委員会主催「スポーツと環境会議」への参加・協力
ウ) その他

①山のトイレ改善運動への協力

(6) 国際交流事業

韓国・中国・ネパール・パキスタン・インドなどのアジア各国はもとより世界各国との登山・スポーツクライミング交流を行い、各国の相互理解を深め、友好親善と登山・スポーツクライミング・山岳スキーの振興を図ることを目的として実施する。

ア) 派遣

①BMC International Summer Climbing Meetへの派遣

5/8～15 英国ノース・ウェルズ

②アジア山岳連盟(UAAA)合同登山隊への派遣

6/13～25 Tavan Bogd, Khuiten Peak(4374m)

イ) 日中韓三国合同イベントの開催

(7) 競技会運営事業

競技施設の整備促進と選手強化・指導育成体制の整備を図りながらクライミングジムとの連携等で競技者人口の拡大を図る。

また、スポーツクライミングに関する上級指導員、指導員、ルートセッター、審判員等の養成と登録業務の統合を図り、スポーツクライミング競技(リード、ボルダリング)大会の充実を図る。

アイスクライミング、山岳スキー競技選手権大会の見直しを図り、トレイルランの実態調査と将来展望の検討を行う。

ア) 競技会・研修会の開催

①第25回リード・ジャパンカップ(山口国体リハーサル大会)

6/4(土)～5(日) 山口県セミナパーク・クライミング場

②第14回JOCジュニアオリンピックカップ

8/14(日)～16(火) 富山県南砺市桜が池cc

③ルートセッター全国研修会

8/9(火)～11(木) 富山県南砺市桜が池cc

④ワールドカップ 印西2011

9/17(土)～18(日) 千葉県印西市

⑤第7回ボルダリング・ジャパンカップ

/(土)～*(日)

⑥競技委員会ブロック研修会の開催 11月～3月 全国9ブロック

イ) 国体山岳競技の主管

- ① 5/14（土）～15（日） 山口国体第1回基準会議、山口県セミナーパーク
- ② 6/3（金）～5（日） 山口国体第2回基準会議、山口県セミナーパーク
- ③ 9/10（土） 組合せ抽選会 岸記念体育会館
- ④ 各ブロック別大会、都道府県予選大会の開催（委託実施）
- ⑤ 10/2（日）～4（火） 第66回山口国体山岳競技、山口県セミナーパーク
- ⑥第66回国体（山口）以降の開催県への指導

ウ) 競技運営

- ①競技委員総会の開催 4/24（日） 東京・岸記念体育会館
- ②国体山岳競技への支援協力 ルートセッター派遣、ブロック別研修会講師派遣
- ③トレイルランニングの調査・研究

(8) 競技力向上事業

選手派遣・管理体制を含めNF競技団体としての内部整備を図る。

ア) 日本代表選手運営

- ①代表の選考

イ) 代表選手の派遣

- ①世界選手権大会

7/15（金）～24（日） イタリア・アルコ

- ②パラクライミング世界選手権大会

7/18（月）～19（火） イタリア・アルコ

- ③アジアユース選手権大会

7/28（木）～30（土） シンガポール

- ④世界ユース選手権大会

8/25（木）～28（日） オーストリア・イムスト

- ⑤アジア選手権大会

11/11（金）～13（日） 香港

- ⑥S代表（野口啓代、堀創、安間佐千）の派遣

ウ) ユース代表選手強化合宿（オーストリア）

エ) ユース選手・指導者講習会の開催

オ) スポーツ障害予防の啓発

カ) ドーピング防止の指導啓発

- ①ドーピング防止研修会

- ②ドーピング検査実施

- ③TUE（治療目的使用に関する除外措置）申請の支援

- ④ADAMS（アンチ・ドーピング管理システム）登録選手への管理支援

- ⑤競技団体連絡協議会への参加

3. 支援・能力開発事業（公益目的事業2）

(1) 医・科学支援事業

|

関係団体と協力して高所登山の情報収集をはかり、高所登山医学の研究を推進し、引き続き関係団体の医科学的諸事業を支援していく。

また、ドーピング防止思想の普及啓発・教育を図る。

ア) 日体協公認スポーツドクター養成支援（代表者協議会への出席）

イ) UIAA MedCom Official Standardsの新テーマとして引き受けている「Non Caucasian and High Altitude」についての検討

ウ) 日山協が支援している医科学的諸事業

①国際認定山岳医研修会

②日本登山医学会認定山岳医研修会

③NPO富士山測候所を活用する会

④JSMM登山者検診ネットワーク

⑤ジュニアクライマー実態調査に基づく選手、指導者、保護者への指導

(2) その他支援事業

ア) ウインター・クラマーズ・ミートの支援

4. 調査研究・提言事業（公益目的事業3）

(1) 山岳遭難防止の調査・研究

各山岳団体と協力して山岳保険加入者の事故調査を実施し、統一データとして、遭難事故を分析し、事故防止に資する。

ア) 遭難事故防止のための研究・指導及び実態調査

イ) 平成23年度全国山岳遭難対策協議会の共催（文部科学省他）7/7（木）東京

ウ) 山岳保険加入者の事故調査（報告書作成／HP掲載）

エ) UIAA登山標準調査

・UIAA登山委員会に青山副委員長を派遣

オ) 遭難事故の調査研究

・遭難事故調査（委託事業）

・遭難事故の科学的分析（ロードセルによる用具性能分析等）

・技術用具の研究（ロープ結束の強度検証）

5. 共益事業

(1) 登山等

ア) 第50回全日本登山体育大会の開催

10/28（金）～30（日） 福岡・英彦山

(2) 会議等

ア) 総会 5月15日（日）、24年3月11日（日）午後

イ) 理事会 第1回 5月15日（日）

臨時 11月13日（日）

第2回 24年3月11日（日）午前

- ウ) 評議員会 24年2月19日 (日)
- エ) 全国参与会 10月28日 (金) 福岡県北九州市 (第50回全日大会開催時)
- オ) 常務理事会 定例会毎月第2木曜日開催 (原則) 年12回開催予定
毎月常務理事会の前に三役会議を開催
- カ) 常任委員会 毎月1回以上開催
- キ) 事務局会議 (随時)
- ク) 新春懇談会 24年1月14日 (土) 会場 (未定)
- ケ) 山岳4団体懇談会 7月*日 (*)
- コ) 「山の日」制定プロジェクトの推進
- サ) 国際会議
 - ① 国際山岳連盟 (UIAA) 理事会 5/12~15 フランス
国際山岳連盟 (UIAA) 総会 10/5~8 ネパール・カトマンズ
 - ② アジア山岳連盟 (UAAA) 理事会 6/*~* モンゴル・ウランハートル
アジア山岳連盟 (UAAA) 総会 10/9 ネパール・カトマンズ
 - ③ 国際山岳スキー連盟 (ISMF) 総会 6/*
 - ④ UIAA MedCom Meetingへの出席 8/18~23 スウェーデン
 - ⑤ 国際スポーツクライミング連盟 (IFSC) イベント実務者会議
 - ⑥ 国際スポーツクライミング連盟 (IFSC) 総会

(3) 総務等

- ア) 公益法人改革に対応した組織、定款、各種規程等の見直し・検討
- イ) 平成23年度役員・会員名簿の作成・発行
- ウ) 議事録の整備
- エ) 山岳共済のPR (山岳雑誌広告、登山月報広告、マスコミ各社他)
- オ) 事務局体制の強化 (常勤スタッフの増員)

(4) 財政等

- ア) 財源の確保
- イ) 外部資金の導入
- ウ) 常務理事会において毎月の収支決算の報告
- エ) 国民スポーツ登山振興基金の管理
- オ) 山岳共済会 (事務センター) の運営管理・共済会会計
- カ) 会計監査 4/25 (月) ~26 (火)
- キ) 中間決算と補正予算について 11月
- ク) 24年度予算案について 24年1月